

取扱説明書

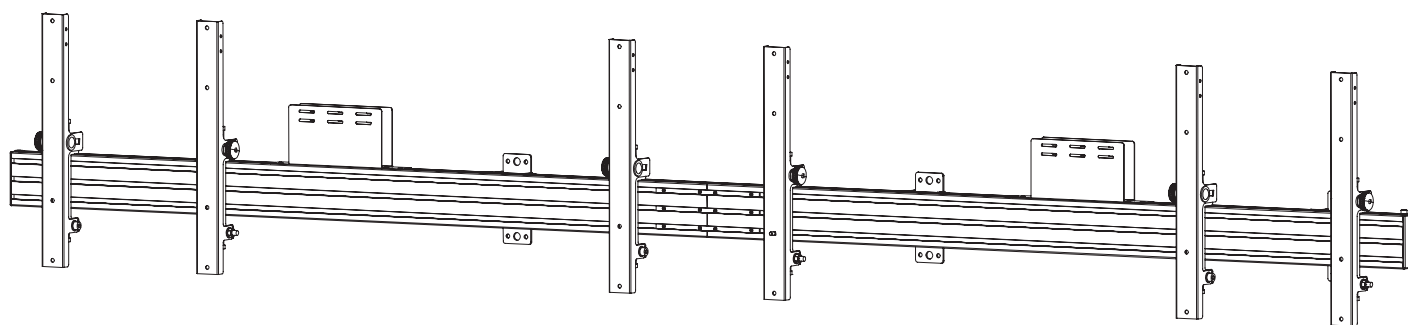
多連壁掛金具 (2連タイプ / 3連タイプ)

型番

(2連) FFP-WM2-185

(3連) FFP-WM3-270

(3連) FFP-WM3-320



※イラストはFFP-WM3-270

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください。
- 特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

目次

■ 安全上のご注意	1-2
■ 製品概要	3
■ 梱包内容	3
■ オプション品	4
■ 「アルミフレーム」を連結する 3連タイプのみ対象	5
■ 「後入れナット」を「アルミフレーム」に差し込む	6
■ 「壁面固定金具」を「アルミフレーム」に取り付ける	7
■ 「壁面固定金具」の取り付け位置を確認する	8
■ 「アルミフレーム」を壁面に取り付ける	9
■ 「落下防止用ボルト」を「アルミフレーム」に取り付ける	9
■ 「STBトレイ」を「アルミフレーム」に取り付ける オプション	10
■ 「モニターブラケット」をディスプレイに取り付ける	11-12
■ ディスプレイを「アルミフレーム」に取り付ける	13
■ 「落下防止ワイヤー」を取り付ける オプション	14
■ 保証書	15

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次の表示で区分しています。

 警告	この表示の欄は「死亡または重症を負うことが想定される危害の程度」です。	 注意	この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。
---	-------------------------------------	---	---

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、絶対にしてはいけない「禁止」内容です。		この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。		この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
	この絵表示は、指に気をつけていただきたい「注意」内容です。		

⚠ 警告

-  本製品の耐荷重を超えるディスプレイは取り付けしないでください。耐荷重を超えた質量のディスプレイを取り付けると、ディスプレイの落下・破損など事故の原因となります。
-  壊れた部品を使用しないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。万一、部品が壊れた場合には販売店にご相談ください。
-  本製品の改造・変更は行わないでください。金具やディスプレイ落下などによる破損・けがの原因となります。
-  ディスプレイを本製品に取り付け、取り外しを含め、組み立てに関しては、必ず2人以上で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  ディスプレイの設置後は、メンテナンス時以外にネジをゆるめたり、はずしたりしないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  揺れや振動の多い場所の壁へは取り付けしないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  使用中にジョイント部やネジのゆるみ、がたつきが生じた場合は、必ず締め直し、直らない場合は使用を中止してください。ゆるみやがたつきがあるまま使用すると本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

⚠ 注意

-  本製品の設置には特別な技術が必要ですので、販売店や工事店にご相談ください。お客様による工事は一切行わないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  安全確保のため、ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。
-  取り付ける壁面には十分な強度があることを確認してください。取り付けるディスプレイ、本製品の質量に長時間耐えうることを確認してください。

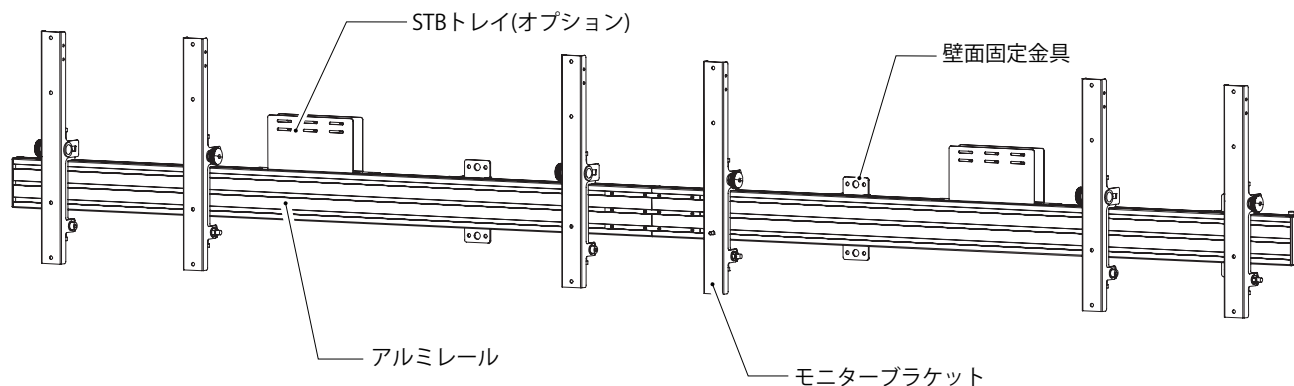
本製品は生産より出荷に至るまで厳重に検査しておりますが、万一製品に破損またはご使用に支障をきたす場合は、まことに恐れ入りますが購入先または下記宛先までお問合せください。

日本フォームサービス株式会社

電話：03-3636-0011(代表) ホームページ：<https://www.forvice.co.jp> メール：marketing@forvice.co.jp

製品概要

多連壁掛金具 (2連タイプ / 3連タイプ)

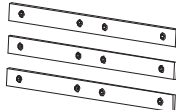
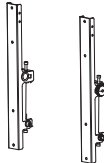
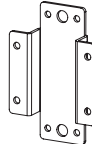
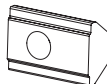
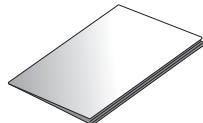


※イラストはFFP-WM3-270

型番	FFP-WM2-185 / FFP-WM3-270 / FFP-WM3-320
質量	約8.5kg / 約12.8kg / 約13.9kg
耐荷重	28kg(1面あたり)

梱包内容

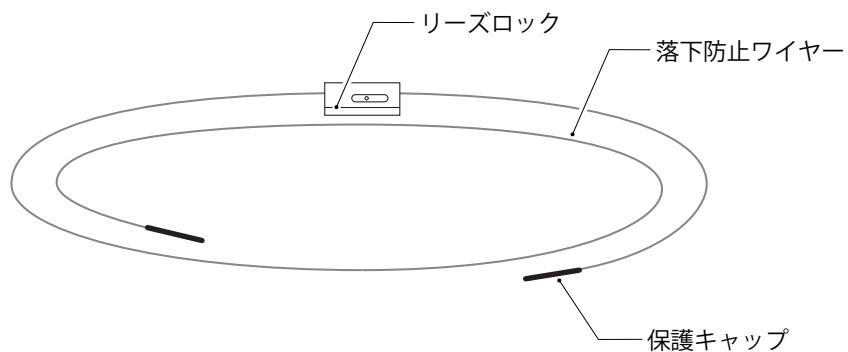
部品・付属品

 アルミフレーム 2連…1本 3連…2本	 バーナット(イモネジM6付) 3連…6枚 ※2連(FFP-WM2-185)の場合は付属 していません。	 モニターブラケット(左右1組) 2連…2組 3連…3組	 壁面固定金具 2連…3個 3連…4個	
 ナベセムス P=3 (M6×16) 2連…8本 3連…12本	 ナベセムス P=3 (M8×18) 2連…8本 3連…12本	 ナベセムス P=3 (M8×20) 2連…8本 3連…12本	 六角穴付ボルト (M6×10)…2本	 六角穴付セムス P=3 (M6×14) 2連…12本 3連…16本
 平ワッシャー(M6) …2枚	 M6取り付け用スペーサー 2連…8本 3連…12本	 フレームキャップ…2個	 後入れナット (M6) 2連…14個 3連…18個	 取扱説明書 … 1部

※工具は付属しておりませんので、お客様や設置する方でのご用意となります。

オプション品

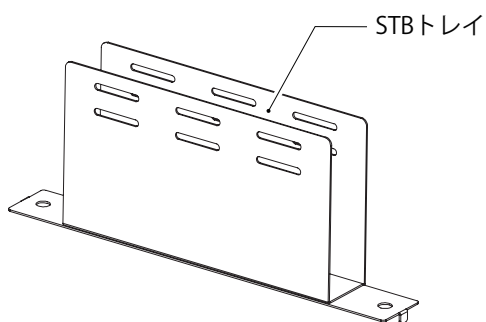
落下防止ワイヤー



※2本セットは2連タイプ専用、3本セットは3連タイプ専用となります。

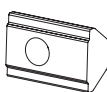
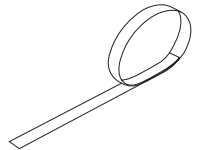
型 番	FFP-WM-WS2 (2本セット) / FFP-WM-WS3 (3本セット)
質 量	約0.05kg /本

STBトレイ



型 番	FFP-WM-STBT
質 量	約0.4kg

部品・付属品 (STBトレイ用)

 六角穴付ボルト (M6×10)…2本	 平ワッシャー(M6) …2枚
 後入れナット (M6) …2本	 マジックバンド…1個

※工具は付属しておりませんので、お客様や設置する方でのご用意となります。

「アルミフレーム」を連結する

3 連タイプのみ対象

「アルミフレーム」を「バーナット(イモネジM6付)」で連結します。

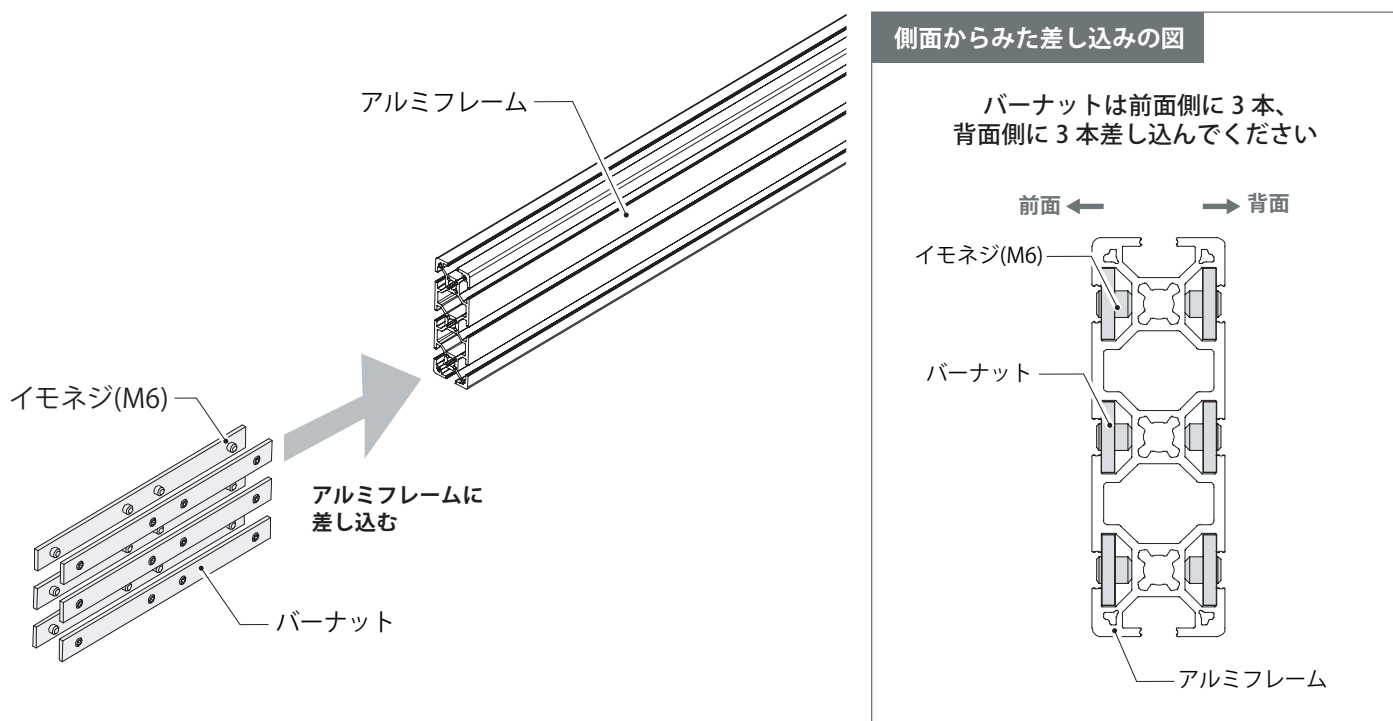
1. 付属の「バーナット(イモネジM6付)」を「アルミフレーム」のレールに側面から差し込んでください。

※「アルミフレーム」の連結は3連タイプのみに行う工程です。

※ 配置は下図をご参照ください。

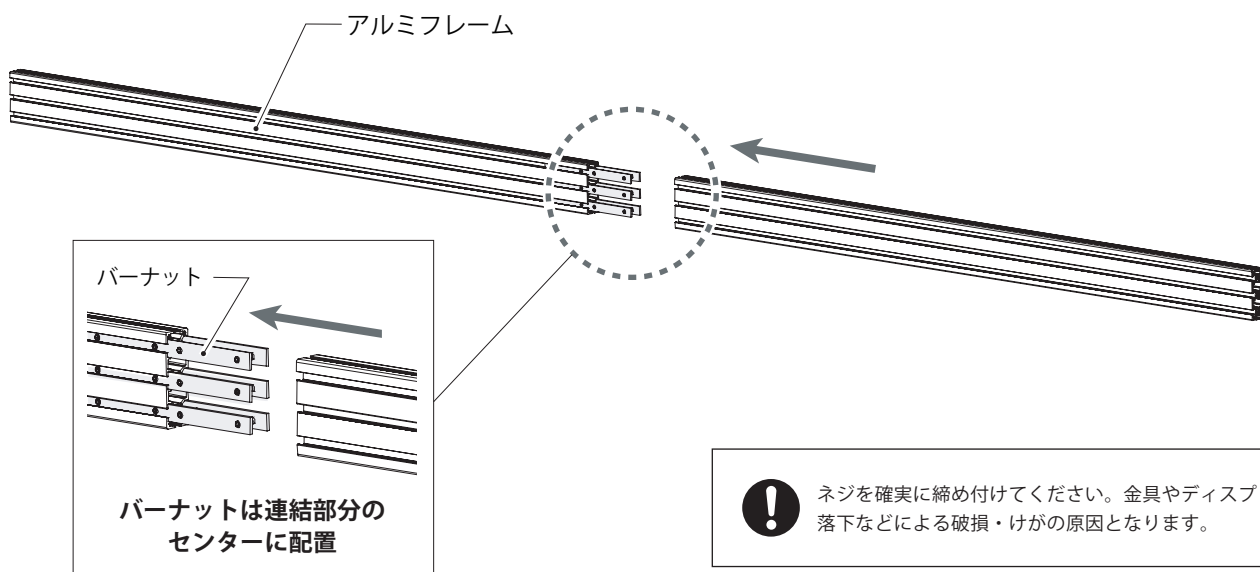
使用する工具

六角レンチ (対応 3mm)



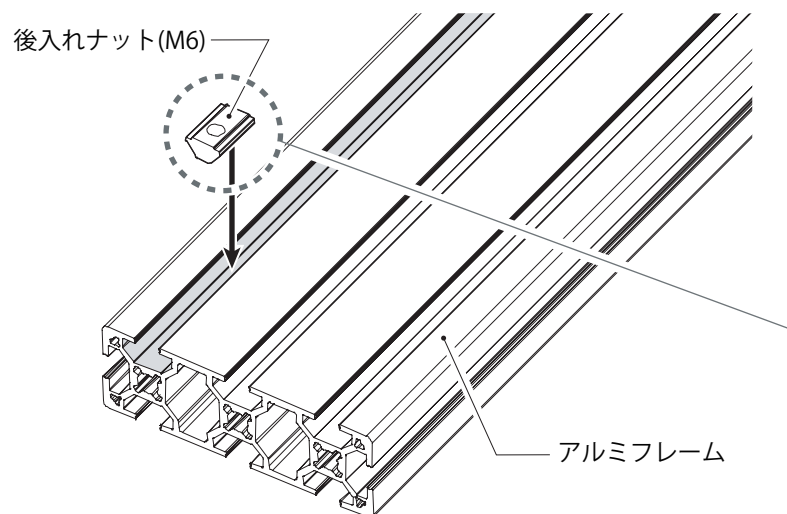
2. 差し込んだ「バーナット」を「アルミフレーム」の連結部のセンターに来るように配置し、「イモネジ(M6)」で仮締めします。
3. 「アルミフレーム」を連結したら「イモネジ(M6)」を本締めし、固定してください。

正面からみた図

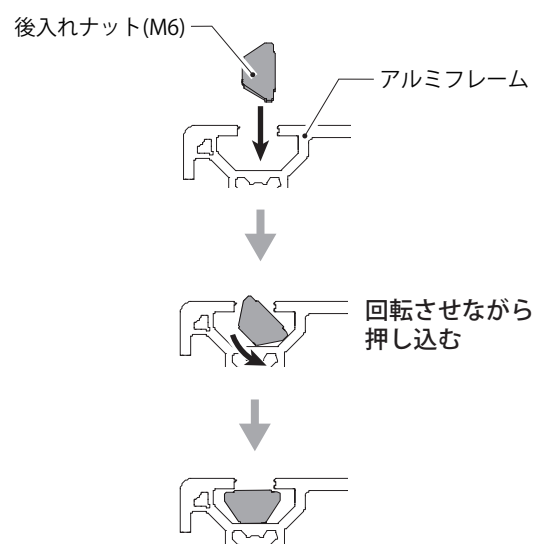


「後入れナット(M6)」を「アルミフレーム」に差し込む

- ・ 金具やボルトを固定するために「後入れナット(M6)」を「アルミフレーム」の溝の中に差し込みます。
- ・ 「アルミフレーム」の溝に「後入れナット(M6)」を差し込んでください。
差し込む際は、溝に滑り込ませるように回転させながら押し込んでください。



後入れナットを差し込む図



「壁面固定金具」を「アルミフレーム」に取り付ける

「壁面固定金具」を付属の「六角穴付セムスP=3(M6×14)」で「アルミフレーム」に取り付けます。取り付けの際はアルミフレームに差し込んだ「後入れナット(M6)」の位置を「壁面固定金具」の取り付け位置に合わせて配置してください。

使用する工具

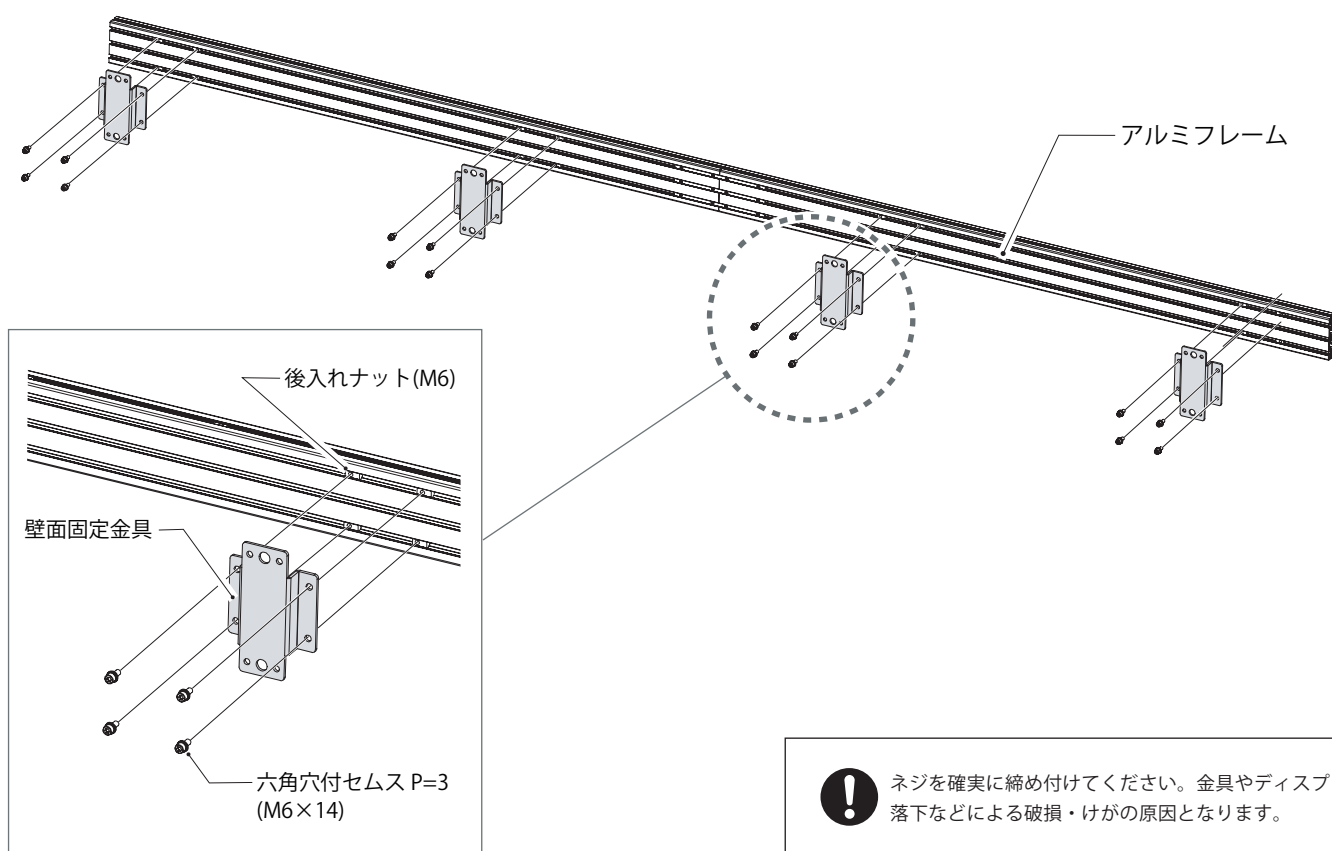
六角レンチ (対辺 5mm)

※ 壁面固定金具の取り付け位置に関しては、P.8「壁面固定金具の取り付け位置を確認する」をご参照ください。

※ 壁面固定金具は3連タイプの場合は4個、2連タイプの場合は3個となります。

背面側から見た図

※イラストは3連タイプの図です。



ネジを確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

「壁面固定金具」の取り付け位置を確認する

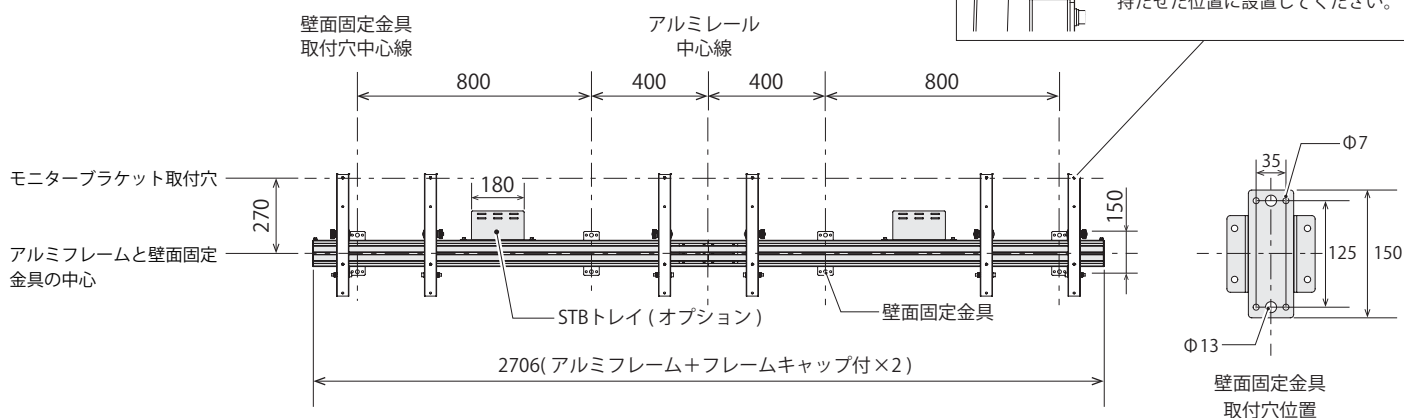
1. 取付位置の強度確認を行い、ディスプレイと金具の荷重に耐えうる取付場所であることを確認してください。
強度が不足する場合は十分な補強を行ってください。

2. ディスプレイ本体の寸法をもとに、「壁面固定金具」のネジ止め位置を決めてください。

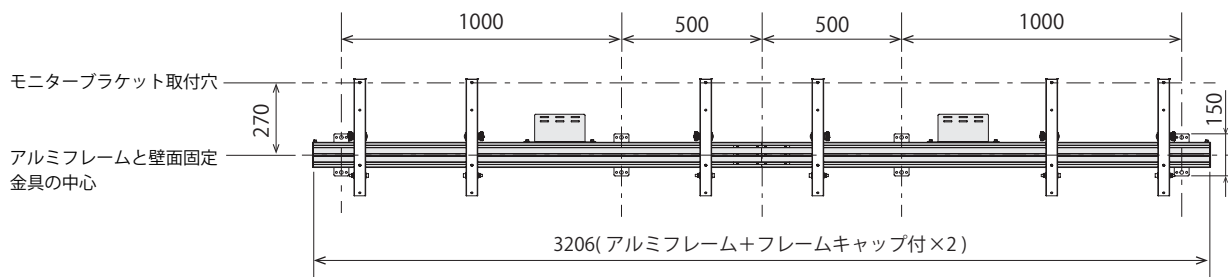
※ 55V型までのディスプレイに対応していますが、本体寸法によっては取り付けられない場合があります。

必ずディスプレイの仕様を確認のうえ、取付を行ってください。

43 / 49V 型を取り付ける場合



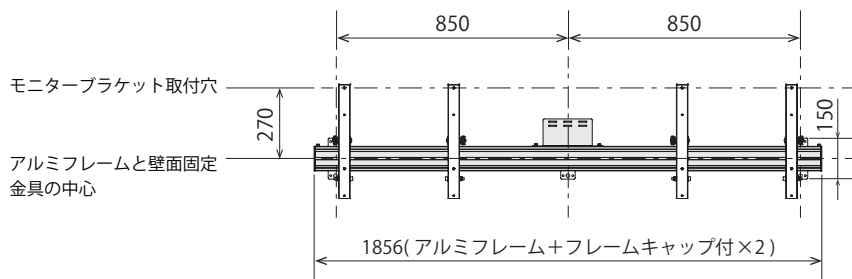
50 / 55V 型を取り付ける場合



2 連タイプの取り付け位置

※2 連タイプの取り付け位置はどのディスプレイも共通の取り付け位置となります。

43 ~ 55V 型を取り付ける場合

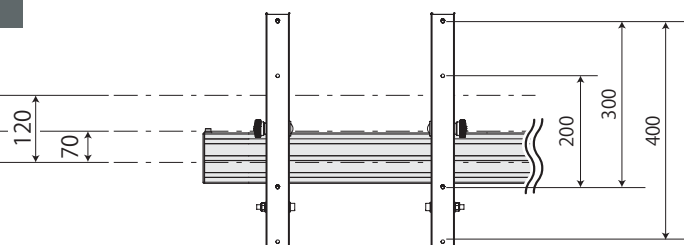


アルミレールの中心線と各 VESA 中心線

VESA中心線 (VESA300の場合)

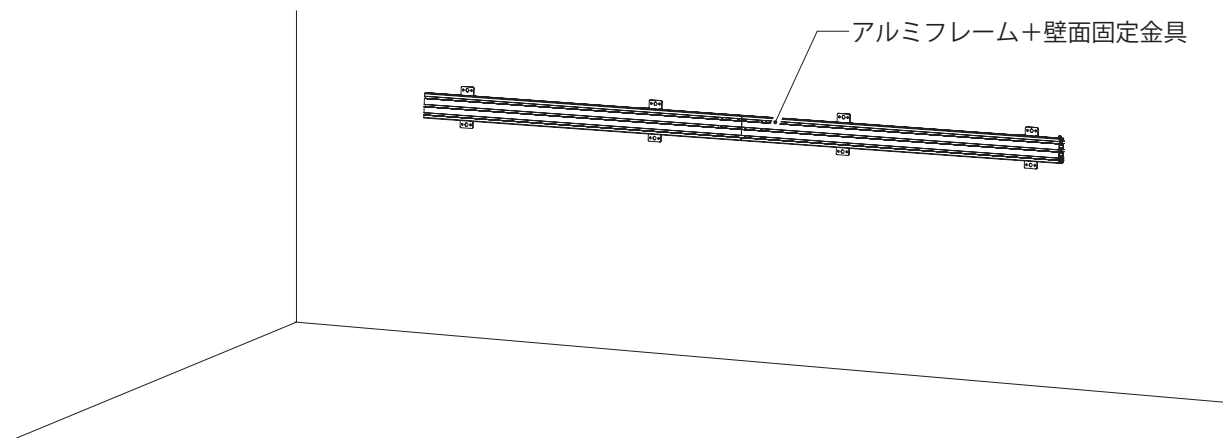
VESA中心線 (VESA200、400の場合)

壁面固定金具とアルミフレームの中心



「アルミフレーム」を壁面に取り付ける

1. 壁面の構造に合わせた固定方法、ボルト・ワッシャーの選定を行ってください。
2. P.8「壁面固定金具の取り付け位置を確認する」で決めた位置に「壁面固定金具」を取り付けて下さい。
取り付けの際は、壁面に対して水平であることを確認してから固定してください。



本製品の設置には特別な技術が必要ですので、販売店や工事店にご相談ください。お客様による工事は一切行わないでください。
本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



ボルトは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

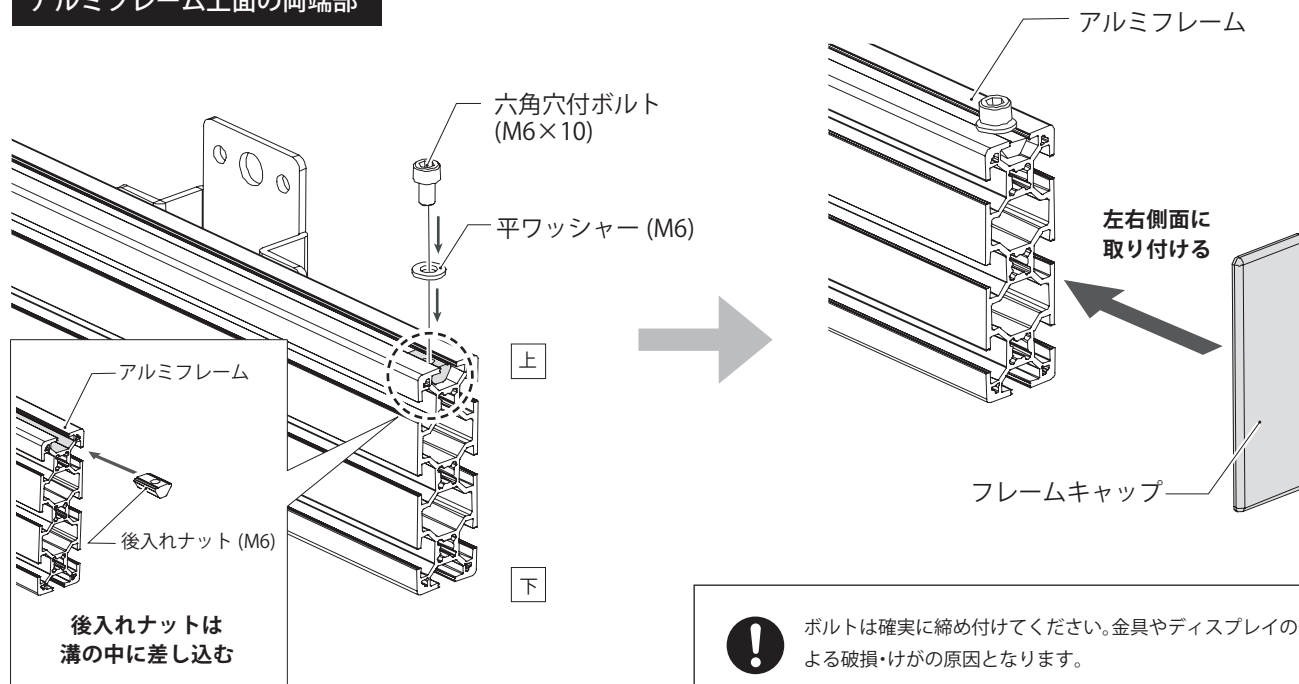
「落下防止用ボルト」を「アルミフレーム」に取り付ける

1. 「アルミフレーム」を壁面に取り付けた後、「アルミフレーム」上面の両端部に落下防止用として、付属の「六角穴付ボルト (M6×10)」「平ワッシャー (M6)」「後入れナット (M6)」を取り付けます。
2. 「アルミフレーム」の左右側面に「フレームキャップ」を取り付けます。

使用する工具

六角レンチ (対辺 5mm)

アルミフレーム上面の両端部



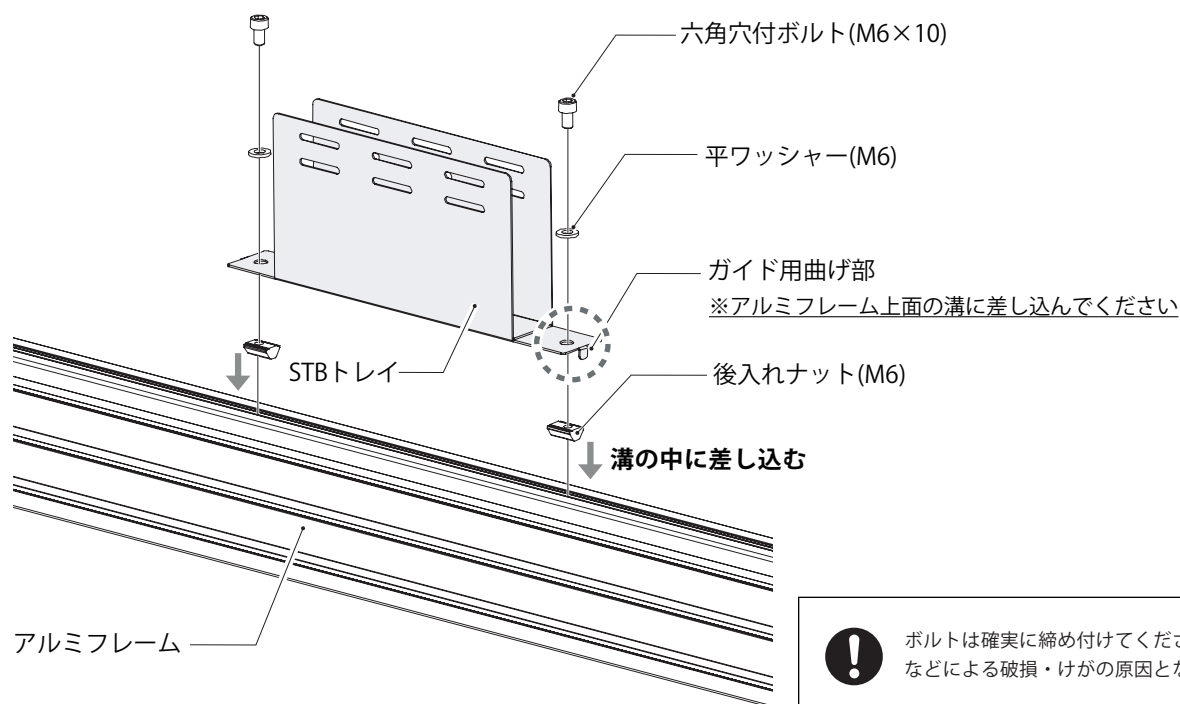
ボルトは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

「STBトレイ」を「アルミフレーム」に取り付ける

オプション

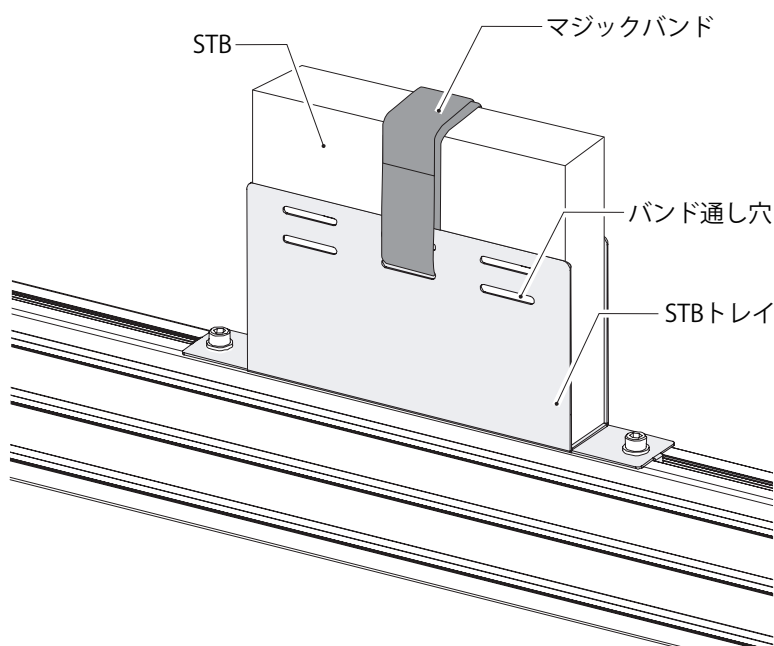
1. 「STBトレイ」を「アルミフレーム」の上部2箇所、付属の「六角穴付ボルト(M6×10)」「平ワッシャー(M6)」「後入れナット(M6)」を使用して取り付けてください。

※「STBトレイ」は8ページに記載の図を目安にして、ディスプレイを取り付ける際に「モニターブラケット」が干渉しないように取り付けてください。

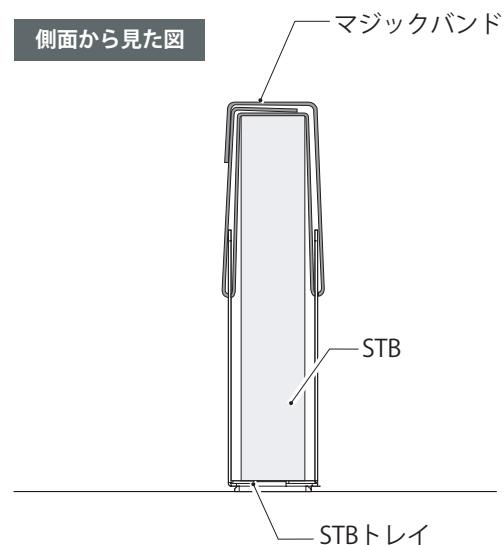


ボルトは確実に締め付けてください。金具や機器の落下などによる破損・けがの原因となります。

2. 「STBトレイ」にSTBを設置します。STBは付属の「マジックバンド」で通し穴を使ってしっかり固定してください。



側面から見た図



※STBの有効寸法について

搭載するSTBの有効寸法は幅210mm、厚さ28mmとなります。



マジックバンドは確実に締め付けてください。STBの落下による破損・けがの原因となります。

「モニターブラケット」をディスプレイに取り付ける

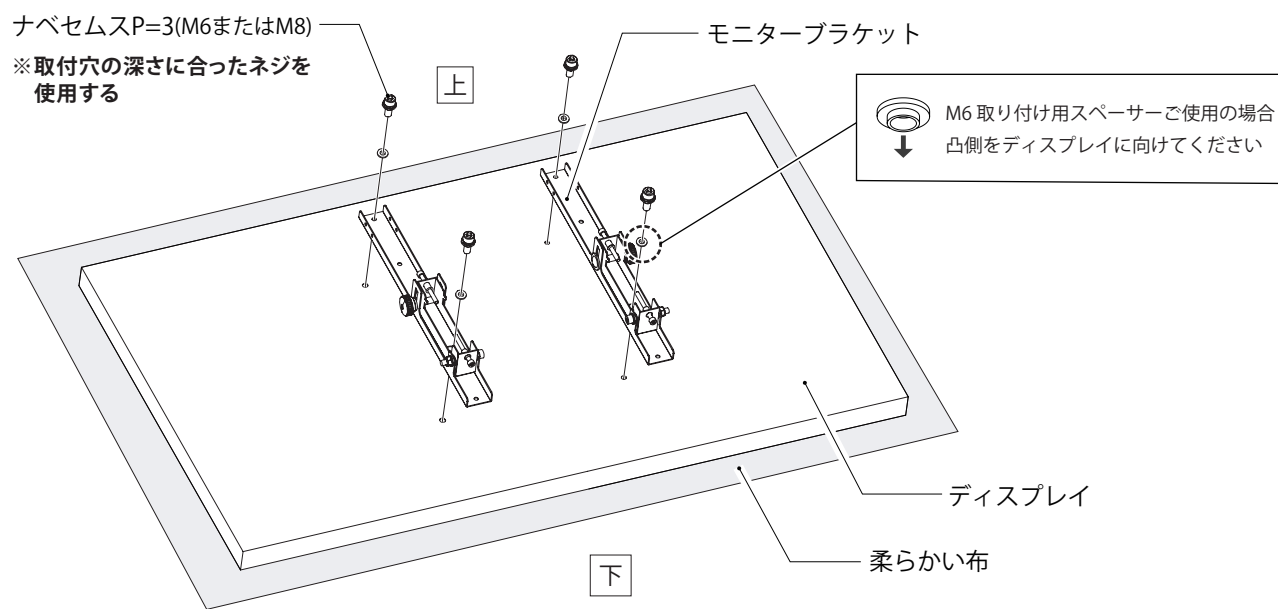
1. ディスプレイは画面を下にした状態で柔らかい布などを敷いた平面に寝かせます。
2. 付属の「ナベセムスP=3」で「モニターブラケット」をディスプレイに取り付けてください。

使用する工具

プラスドライバー

ネジは付属の「ナベセムスP=3 (M6×18 / M8×18 / M8×20)」の中からディスプレイの取付穴の深さに合ったネジを選定してください。

※ M6のネジを使用する場合のみ付属の「M6取り付け用スペーサー」をご使用ください。



※図は43V型の場合



取り付けの際は、取付穴深さをディスプレイの取扱説明書やメーカーのホームページなどで確認の上、深さに合ったネジを選定してください。



ネジを確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



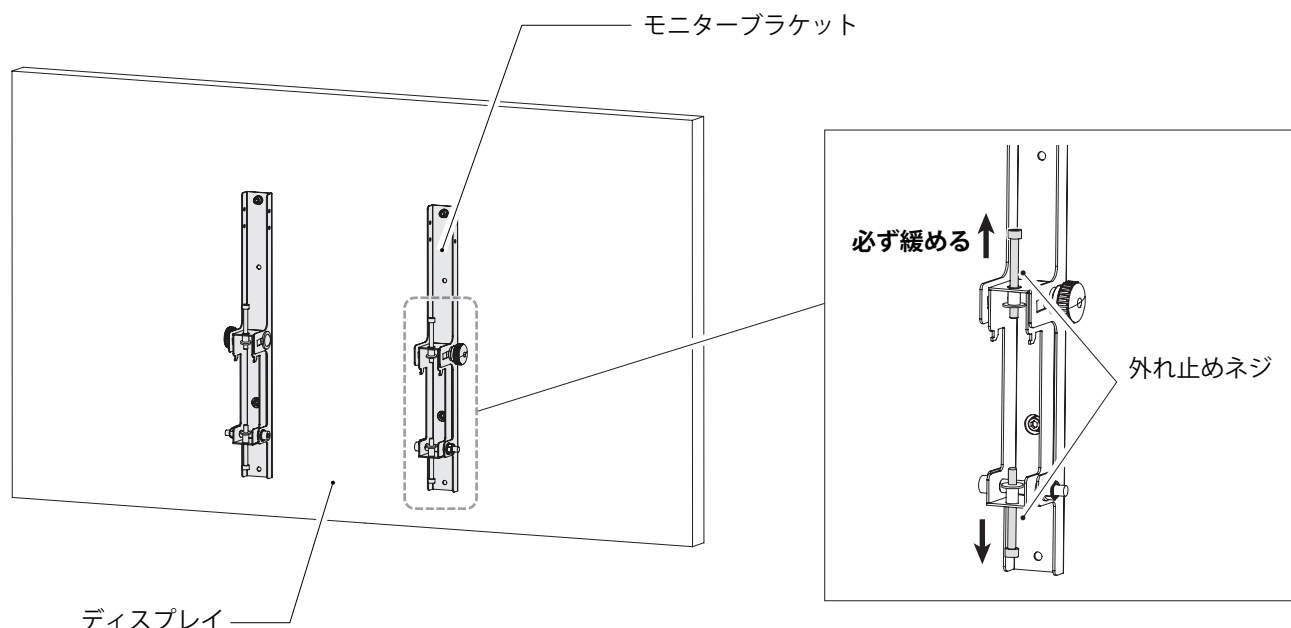
ディスプレイを寝かせる際は、凹凸のない平らな面に柔らかい布などを敷いて、取付を行ってください。画面に異常をきたす原因となります。

ディスプレイを「アルミフレーム」に取り付ける

1. ディスプレイを「アルミフレーム」に取り付ける前に、「モニターブラケット」の「外れ止めネジ」2箇所を必ず緩めてください。

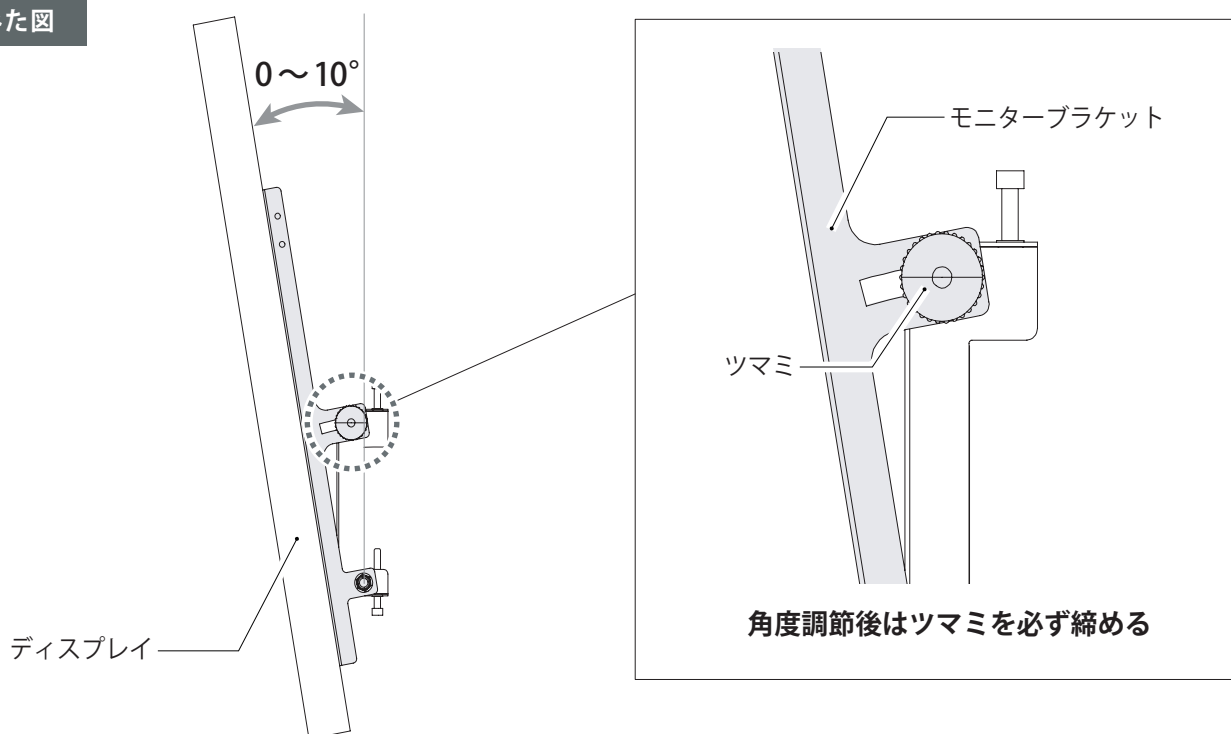
使用する工具

六角レンチ (対辺 5mm)



2. 「アルミフレーム」に取り付ける前に「モニターブラケット」両側のツマミを緩めて、設置場所に応じた角度($0^{\circ} \sim 10^{\circ}$)にディスプレイを調節してください。

側面からみた図



角度調節をした後は、必ずツマミを確実に締め付けてください。
ディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

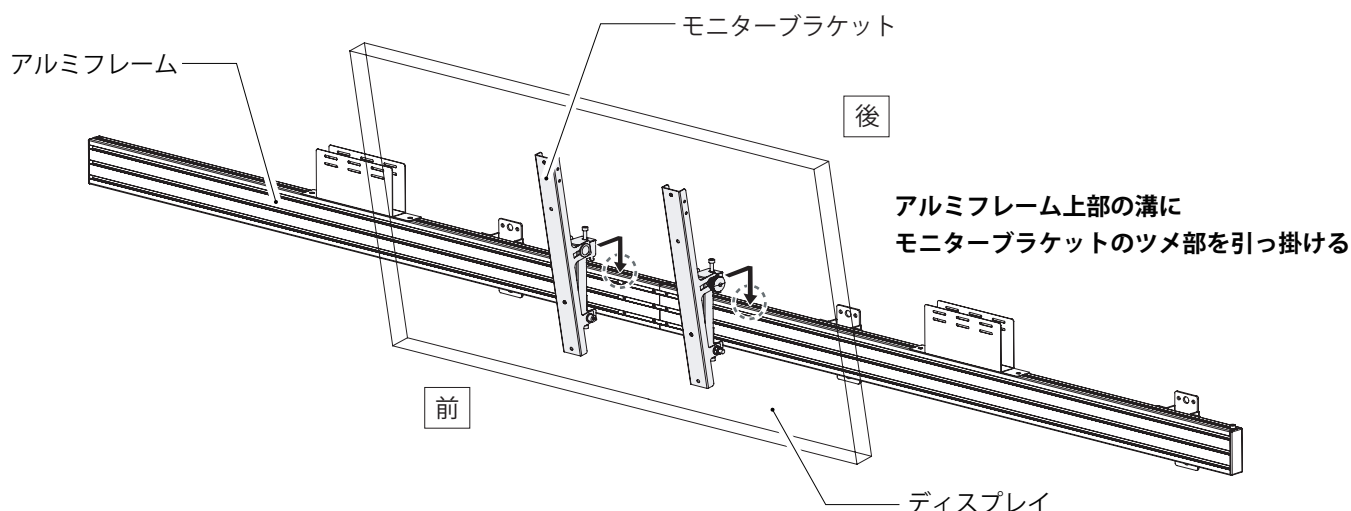


ディスプレイの角度調節を行う際は、必ず2人以上で作業を行ってください。指示人数未滿での作業は、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

ディスプレイを「アルミフレーム」に取り付ける

つづき

2. 「モニターブラケット」のツメ部を「アルミフレーム」上部の溝に引っ掛けて、ディスプレイを取り付けてください。
取り付け後は必ず「外れ止めネジ」を「アルミフレーム」に当たる位置まで締めてください。
「外れ止めネジ」を締める際は、ネジに取り付けられたワッシャーを押さえながら行ってください。
※残りのディスプレイも同様の手順で取り付けてください。

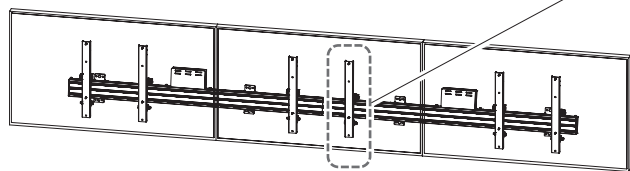


外れ止めネジは必ず締め付けを行ってください。モニターブラケットの横ズレが生じてディスプレイ同士が接触し機器の破損・故障の原因となります。



設置後、必ずツメがレールに引っ掛かっていることを確認してください。ディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

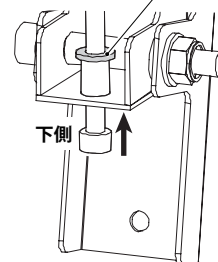
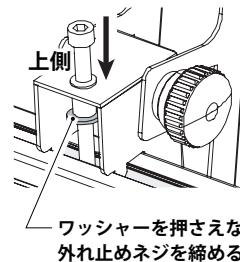
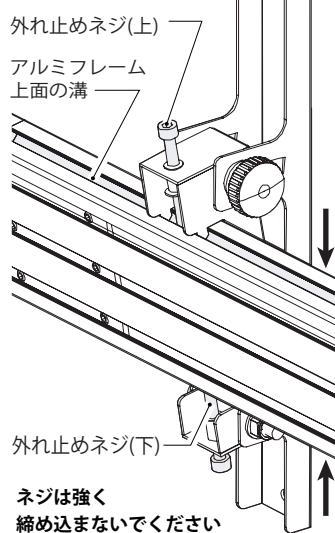
ツメ部を溝に引っ掛けた状態



※下の外れ止めネジを緩めた状態で、上の外れ止めネジを締めこむとブラケットが上方向へ持ち上がります。

※上方向への外れ止めネジの調節は3mmを上限としてください。それ以上高さを上げるとモニターブラケットが落下する恐れがあります。

※上方向への高さ調節後に、下側の外れ止めネジを締め込んで固定してください。



ディスプレイの本製品への取り付け、取り外しを含め、組み立てに関しては、必ず2人以上で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



ネジは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



ネジを締める順番を間違えたり、過度に締め込んだ場合、モニターブラケットの落下などによる破損・けがの原因となります。

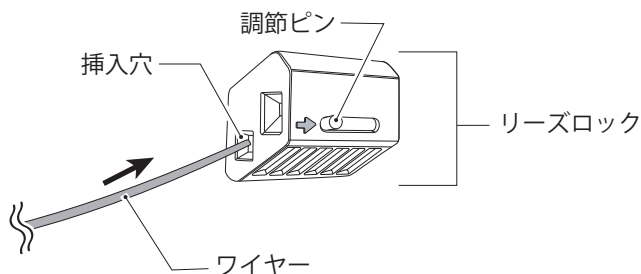
「落下防止ワイヤー」を取り付ける

オプション

- ・ディスプレイの落下防止用として、付属の「落下防止ワイヤー」と「リーズロック」を取り付けてください。
- ・納品時は、「リーズロック」に「落下防止ワイヤー」が1方向だけ通してあります。取り付けを行う際は、もう1方向の先端に取り付けてある保護キャップを取り外してください。
- ・保護キャップは、「落下防止ワイヤー」の取り付けが終了したら、再度「落下防止ワイヤー」の先端にしっかりと奥まで入れて付け直してください。

リーズロックの使用方法

1. 次項目の『ワイヤーの通し方』を参考に「落下防止ワイヤー」を「モニターブラケット」と「アルミフレーム」または「壁面固定金具」などに通してください。
2. 保護キャップを外したワイヤーの先端を「リーズロック」に刻印されている矢印の方向から挿入穴に挿入してください。
3. ワイヤーの端部を引いてテンションをかけてください。ワイヤーの末端が10mm以上出ていることを確認してください。
 - ※ ワイヤーに荷重がかかるとピンが動かなくなりロックされます。
 - ※ ワイヤーの長さ調節する場合は、調節ピンのロックを矢印方向にスライドするとロックが解除されます。

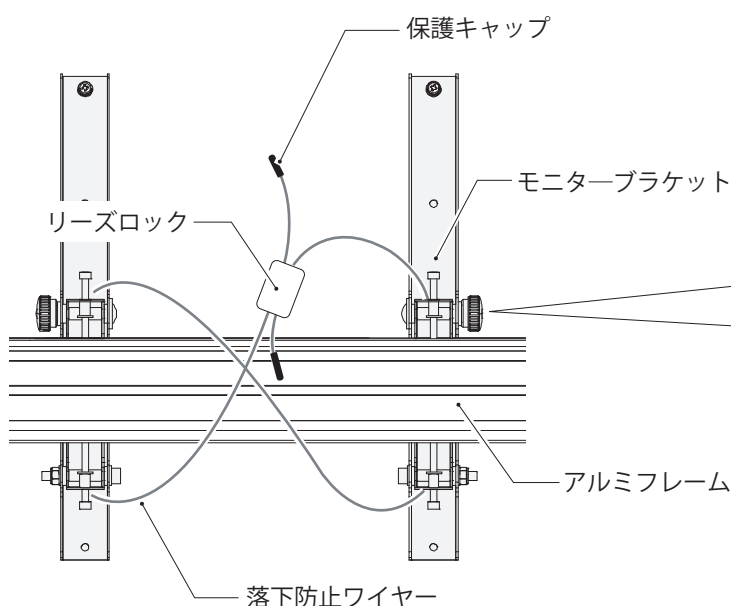


保護キャップを取り外した際にワイヤーがほつれる可能性があります。けがに気を付けて作業を行ってください。

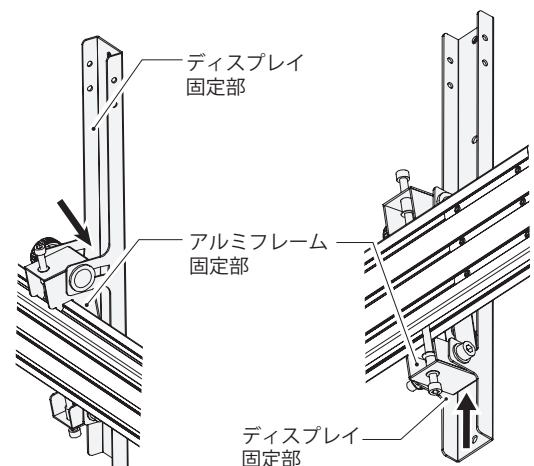
ワイヤーの通し方

「落下防止ワイヤー」は、下図を参照し各ディスプレイに対して1セットを取り付けてください。
取り付け後はワイヤーの先端に保護キャップを再度取り付けて下さい。

背面から見た図



ワイヤーはモニターブラケットのアルミフレーム固定部とディスプレイ固定部の金具の隙間(矢印部)に通してください。



取り外した保護キャップは、無くさないように保管しておいてください。



ワイヤーを扱う際は、先端部にご注意ください。特にほつれがある場合は、けがの原因となります。